

比田井小琴 せいでる 書家。明治十八年六月二日東京生れ（一八五一）。
 舊姓田中、本名兀子（もと子）。坂正臣の師事した。假名の大家とし
 く知られ、「假名名蹟辭林」を編纂。比田井大來の妻。
 著書『かなひてほごま』（昭和十一年六月十日書學院後援會）、『愛
 國百人一首』（内題「小琴愛國百人一首帖」昭和十九年二月十五日書
 學院）、『かなひてほごま』（昭和二十二年六月十五日書學院出版
 社）等。

